

広島市文化財団ベンチマークス(江波山気象館) 平成19年度達成度

使命 (ミッションステートメント)		存在意義	基本方針	事業の実施方針	
		・気象の専門博物館 ・子どもが安心してすごせる居場所づくり ・市民が社会貢献する場の提供 ・被爆に関する調査研究と平和学習の支援	・親しまれる、楽しい博物館 ・気象情報の拠点となる博物館 ・広く社会と連携する博物館 ・歴史を伝える博物館 ・ホスピタリティあふれる博物館	・最新の情報、技術による展示の実施 ・資料収集、調査研究の強化 ・来館者以外への気象情報の提供 ・地域、学校、企業、団体等との連携 ・ボランティア活動範囲の拡大及び組織化 ・建物に関する歴史情報の提供 ・来館者サービスの徹底	
事業領域	領域目標	事業	事業目標	目指す成果(業績指標)	目標値(設定値→結果)
教育普及	気象をメインテーマに、自然・科学・歴史・文学・芸術など様々な視点から、人間と世界のつながりを示す	展示事業	「見やすさ楽しさ」と「発見・驚き」のある独自性の高い展示の提供	楽しかったと感じた入館者の割合	93%→ 91%
				新しい知識や発見を得られたと答えた利用者の割合	92%→ 76%(※)
		講座・教室事業	社会と連動・連携する展示・企画等	展示や企画で自分が見たいもの、知りたいことについて得るものがあつたと感じた人の割合	85%→ 87%
			参加者の知的好奇心をくすぐり、科学する心を育む	面白かったと感じた参加者の割合 気象や科学に興味を持った参加者の割合	89%→ 91% 81%→ 82%
気象予報事業	市民生活に密着した気象情報の提供と、臨場感の追求	江波山気象館が発信する気象情報が役に立っていると感じる利用者の割合	10%→10%		
調査研究	気象等に関する研究と学習の拠点となる	資料収集・保存管理事業	気象資料等の、適切な整理・保存・管理を行う	所蔵する気象資料等のデータベース化の割合	73%→ 73%
		調査研究事業	気象資料等を活用した調査や展示、学習プログラムの作成	気象に関する調査等の成果の公表・発表、講演会講師等の回数 展示や学習プログラム等の新規作成件数	15回→ 19回 1件→ 6件
連携 学習支援	学校教育や地域活動等と連携して、事業内容や利用者の多様化をはかる	学校教育との連携	ニーズの把握と利用形態に即した対応	学校団体見学における特別メニューの実施率	82%→ 88%
				次回も江波山気象館を利用したいと感じた教師の割合	98%→ 98%
		地域活動等との連携	児童館や公民館等と連携し、子どもの居場所づくりや市民の学習活動を支援する	出前授業等の後に面白かった、興味が高まったと答えた児童の割合	86%→ 97%
				児童館や公民館等からの出前依頼や協力依頼への対応件数	32回→ 44回
情報発信事業	IT技術を駆使し、広く市民に気象情報を提供する	ホームページのコンテンツの追加・更新の頻度(年間・月間)	追加年3件、更新月2回→追加年2件、更新月2回		
		ネット等を経由して質問等についての回答率(適切な答えを返せた割合)	100%→ 100%		
学芸員実習・職場体験	博物館の理解を深め、将来の博物館等で活動できる人材の育成	博物館への理解が高まったり、将来何らかの形で博物館等での活動に参加したいと感じた実習生の割合	80%→ 100%		
		連携先の担当者が当館との連携が有意義であったと感じた割合	95%→ 100%		
市民活動 支援・協働	ボランティア活動の場を提供するとともに、博物館活動の可能性を広げる	ボランティア養成・活用	ボランティア等との協働	事業におけるボランティア等の実施率	31%→ 23%
			市民が自らの知識・技術を生かせる環境づくり	ボランティア参加者が科学教育や社会に貢献できたと感じた割合 ボランティアの定着率	57%→ 70% 94%→ 122%
施設管理	ホスピタリティあふれる博物館	来館者サービスの向上	親しまれる博物館の実現	ミュージアムショップについて、品揃え、価格帯について満足した人の割合	24%→ 20%
				職員の対応について好感を持った利用者の割合	73%→ 81%
			利用者ニーズの把握と実現	施設の利用について不満を感じた利用者の割合 利用者ニーズに対する実現件数	15%→ 16% 3件→ 4件

※今年度からアンケートの設問に、新しい知識や発見ができたと回答した場合にどのようなことがわかったか記入する欄を新たに設けた。この影響で、「はい」という回答を回避する傾向が見られ、数値が低くあらわれている。